



WEB PAGE

田畑益弘

太陽書房



## 目次

2004年8月	5
2004年9月	21
2004年10月	38
2004年11月	56
2004年12月	72
2005年1月	88
2005年2月	103
2005年3月	111
2005年4月	122
2005年5月	139
2005年6月	154
2005年7月	169



2004年8月

釜の蓋たれが開けたる劫暑かな

吾れ遊子揚羽も遊子ちぎれ雲

百代の過客にまじり碧揚羽

揚羽に針刺してこの世のものとせる

蝉山のその只中の群集墳

病葉や余白の多き日記なる

恍惚と雲浮みゐる草いきれ

夏惜む棒の如くに突つ立つて

頭の中の回路混線茂るかな

憂鬱の鬱といふ字の茂りかな

ひとすぢの涼ふつと生れふつと消え